令和８年度　糖尿病看護に活かす研修会
「災害時の糖尿病支援を考える」
～被災地の経験から学ぶ平時からできる備え～

令和８年８月吉日

１．本研修開催の目的

近年、東日本大震災や能登半島地震など、大規模災害が相次いでいます。糖尿病をお持ちの患者さんは、インスリンなどの治療薬や血糖測定器を継続して使用する必要があります。食事や生活環境の変化、心理的ストレスの影響も受けやすいため、災害時には血糖コントロールが悪化しやすいと言われています。

日頃の外来や病棟業務の中で、糖尿病の患者さんと一緒に「災害への備え」について考えたことはありますか？

本研修では、東日本大震災で被災しながらも患者支援にあたられた菊地由恵先生（石巻赤十字病院）をお招きし、被災地における糖尿病患者の支援の実際についてお話いただきます。また、ワールドカフェ形式で災害時の備えについて事例をもとに語り合う時間や、非常食の展示、防災リュックに必要物品を詰めて背負ってみる体験を通して、平時からできる備えについて一緒に考えていきます。

災害はいつ起こるかわかりません。ぜひこの機会に、明日からの療養支援に活かせる「災害への備え」を一緒に学びませんか。同僚の方とお誘い合わせのうえ、皆さまのご参加をお待ちしております。

企画責任者　宮崎　直子

記

【開催日時】　2026 年 11 月 8 日（日）　13：00～16：10
　　開場 12：30 から
【対象者】　糖尿病患者さんの療養支援に関わる方
　　※医療職の方であれば職種は問いません。
【募集人数】　30 名（先着順）
【場所】　アピオあおもり　大研修室 1
　　〒030-0822　青森県青森市中央 3 丁目 17－1　ＴＥＬ：017－732-1010
【参加費】　2000 円　当日会場で回収します
【持参物】　筆記用具
【研修申し込み方法】　QR コードからお申込みください。
【研修申し込み締め切り】10 月 30 日（金）
【問い合わせ】　かさい糖尿病内科クリニック　宮崎　直子
　　〒031-0011　青森県八戸市田向 5 丁目 21－25
　　ＴＥＬ　0178－51－6336

令和8年度　糖尿病看護に生かす研修会inアピオあおもり(集合)「災害時の糖尿病支援を考える」

２．研修当日のタイムスケジュール

受付　12：30～13：00

時間	内容	担当（職種）
13：00～13：05	オリエンテーション	宮崎　直子 （看護師）
13：05～14：05	講演　東日本大震災を経験して～糖尿病療養支援と災害対策～ （講演 50 分・質疑応答 10 分）	菊地　由恵先生 （看護師）
14：05～14：15	休憩	
14：15～16：05	・グループワーク（ワールドカフェ形式） テーマ：「独居の 2 型糖尿病女性」 「単身赴任中の 1 型糖尿病男性　インスリンポンプ使用」 2 事例の平時の備え、避難時の動き、避難生活の注意点 「非常食と持ち出し袋について」 ファシリテーター：井上和子・桜庭咲子・久保睦子・松橋法子・ 小林宏美・成田圭子・ 砂子麻衣香・松山裕美 ・意見交換	進行：宮崎　直子 （看護師）
16：05～16：10	まとめ	宮崎　直子 （看護師）

講師：石巻赤十字病院　糖尿病看護認定看護師　菊地　由恵先生

ファシリテーター：

青森市民病院	糖尿病看護特定認定看護師	井上　和子
弘前大学医学部附属病院	糖尿病看護認定看護師	桜庭　咲子
	糖尿病看護特定認定看護師	松山　裕美
むつ総合病院	糖尿病看護認定看護師	小林　宏美
十和田市立中央病院	糖尿病看護特定認定看護師	成田　圭子
青森県立中央病院	糖尿病看護特定認定看護師	砂子　麻衣香
八戸市立市民病院	糖尿病看護特定認定看護師	久保　睦子
八戸赤十字病院	糖尿病看護認定看護師	松橋　法子
かさい糖尿病内科クリニック	糖尿病看護認定看護師	宮崎　直子

※　日本糖尿病療養指導士更新〈1 群〉看護の研修 2 単位を申請予定です。

※　青森糖尿病療養指導士更新単位 1 単位を申請予定です。

主催：青森県糖尿病看護認定看護師会

共催：日本糖尿病教育・看護学会

共催：アークレイマーケティング株式会社